

八杉龍一 やちのり 生物學者。明治四十四年九月十六日東京生れ(一九一一年)。ロシヤ語學者八杉貞和の長男。昭和七年東京帝國大學理學部動物學科卒。東京工業大學教授、早稲田大學教授歴任。實驗動物學から生物學史(研究)轉じ、進化論等科學發展叢書多數を著はした。

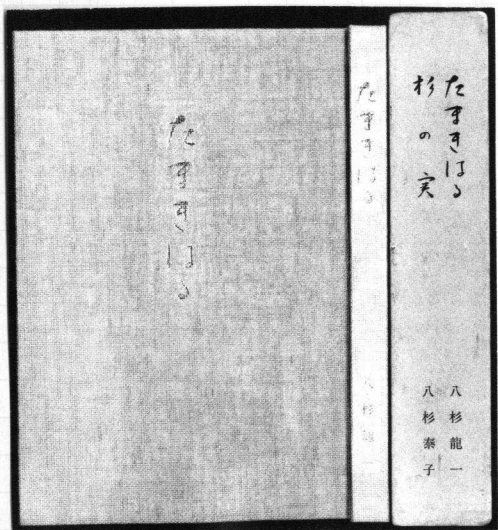
- 著譯書 『學問と政治』 (合著、昭和二十一年十月五日東大研同組合出版部編刊)、 『ダーウイニズムの諸問題』 (再版、昭和二十二年十一月二十日理學社)、 『綜合ゲーテ研究』 (合著・民科藝術部編、昭和二十四年四月二十日北隆館)、 『ロシヤの科學者』 (昭和二十四年五月五日弘文堂「アチネ文庫」)、 『大學生活』 (合著・天野貞祐編、昭和二十四年五月二十日日光文社)、 『丁・ハックスリ著「自然のむくむく人間の位置」』 (小野寺好之共譯、昭和二十四年七月十五日日本評論社「世界古典文庫」)、 『進化と創造』 (昭和二十四年十一月五日岩波書店「岩波新書」)、 『大學生活第二』 (合著・辰野隆編、昭和二十五年一月十五日日光文社)、 『ダーウインの生涯』 (昭和二十五年九月五日岩波書店「岩波新書」)、 『近代進化思想史』 (昭和二十五年十一月二十日中央公論社)、 『J・B・S・ホールデン著「人間とはなぬめ』』 (譯、昭和二十七年五月二十日岩波書店「岩波新書」)、 『二十世紀人—われらはどう生きていくぬめ』 (昭和二十七年九月十日光文社)、 『若者の日の讀書』 (合著、瀬沼茂樹編著、昭和二十八年四月十五日河出書房「河出新書」)、 『學生生活讀書』 (合著・瀬沼茂樹編、新裝版、昭和二十九年二月十日河出書房「河出新



書』)、ヴェルジーリン著『植物とのかたち』(高敏隆共訳、昭和二十一年二月、千台岩波書店「岩波少年文庫」)、『キコヤム』(せられるうづばゆたち』(ひだめ・としたか共著、昭和二十四年八月、千台岩波書店「雨の日文庫」)、『ゴゴウツジもんばなし』(昭和二十四年六月、千台岩波書店「雨の日文庫」)、シヨシヤール著『人間の生物学』(行動と思考の生理的基礎』(八杉孝共訳、昭和二十四年十月、千台岩波書店)、『岩波生物学辞典』(共編、昭和二十五年二月、千台岩波書店)、ハンソン著『動物の分類と進化』(訳、昭和二十七年七月、千台岩波書店「現代生物学入門」)、ダーウイン著『種の起源』

全二冊(訳、昭和二十八年六月十六日、四十六年一月十六日、千台岩波書店「岩波文庫」)、『進化学序論—歴史と方法』(昭和四十年七月、千台岩波書店)、『進化論の歴史』(昭和四十四年九月、千台岩波書店「岩波新書」)、『近代進化思想史』(昭和四十七年二月、千台中央パム論社「自然選書」)、『一生物学者の思索と遊歴』(昭和四十八年六月、千台岩波書店)、C・U・M・スミス著『生命観の歴史』全一

冊(訳、上—古代からゲカルトへ、昭和五十六年六月十日、下—現代への展開、七月、千台岩波書店)、『たけのこはる』(昭和五十六年九月、千台岩波書店)、『生命論と進化思想』(昭和五十九年八月、千台岩波書店「科学ライブラリー」)、J・C・マッロイ著・作、画『動物進化の物語—なぜいろいろな生き物がいるのか』(訳、



昭和五十九年十一月二十一日（自任波書店）等。